

3. 講習会の開催

1) 開催概要

講習会は東京地区2回、中部地区、近畿地区、九州地区で各1回、計5回開催した。まちなかの暑さ対策ガイドラインの内容説明のほか、有識者による講演及び各地区の地方自治体からの情報提供、質疑応答を行い、課題等の共有、議論を行った。各講習会の開催概要を以下に示す。

(1) 大阪会場

日時：平成29年2月7日（火） 14：00～16：00（13：30 受付開始）

場所：あべのルシアス 12階 大阪市役所会議室

〒545-8550 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-5-1

内容：①開会

②環境省における暑さ対策の取組について（15分）

（環境省 水・大気環境局 大気生活環境室）

③各地域の暑さの特性と暑さ対策の課題（30分）

（大阪市立大学大学院 工学研究科 准教授 鍋島 美奈子氏）

④まちなかの暑さ対策ガイドライン（60分）

（一般社団法人環境情報科学センター）

⑤地域における暑さ対策の取組み（15分）

（大阪府、大阪市、枚方市）

⑥質疑応答、閉会

参加者：38人（地方環境事務所1人、NPO2人含む）



図3 大阪会場の開催状況（右上：鍋島美奈子氏、右下：大阪市石田氏）

(2) 名古屋会場

日時：平成 29 年 2 月 8 日（水） 14：00～16：00（13：30 受付開始）

場所：愛知県自治センター 5階 研修室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2

内容：①開会

②環境省における暑さ対策の取組について（15分）

（環境省 水・大気環境局 大気生活環境室）

③各地域の暑さの特性と暑さ対策の課題（30分）

（愛知産業大学 学長 堀越 哲美氏）

④まちなかの暑さ対策ガイドライン（60分）

（一般社団法人環境情報科学センター）

⑤地域における暑さ対策の取組み（15分）

（多治見市）

⑥質疑応答、閉会

参加者：30人（地方環境事務所2人、学識者1人、NPO1人含む）



図4 名古屋会場の開催状況（右上：堀越哲美氏、右下：多治見市宮上氏）

(3) 東京会場（その1）※東京都が主催者となって実施

日時：平成29年2月9日（木） 13：30～16：30（13：00 受付開始）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階403

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-12

内容：①開会

②環境省における暑さ対策の取組について（15分）

（環境省 水・大気環境局 大気生活環境室）

③各地域の暑さの特性と暑さ対策の課題（30分）

（日本工業大学 建築学科 教授 三坂 育正氏）

④まちなかの暑さ対策ガイドライン（60分）

（一般社団法人環境情報科学センター）

⑤東京都の暑さ対策の取り組みについて（10分）

（東京都地球環境エネルギー部環境都市づくり課）

⑥夏の暑さ対策の手引き（20分）

（東京都地球環境エネルギー部環境都市づくり課）

⑦市区町村の取組について（30分）

（新宿区、足立区）

⑧質疑応答、閉会

参加者：45人



図5 東京会場（その1）での開催状況（右上：三坂育正氏、右下：東京都谷口氏）

(4) 九州会場

日時：平成 29 年 2 月 17 日（金） 14：00～16：00（13：30 受付開始）

場所：福岡東総合庁舎福岡東総合庁舎 3 階第 3 会議室

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-17-1

内容：①開会

②環境省における暑さ対策の取組について（15分）

（環境省 水・大気環境局 大気生活環境室）

③各地域の暑さの特性と暑さ対策の課題（30分）

（九州大学 総合理工学研究院エネルギー環境共生工学部門 教授 萩島 理氏）

④まちなかの暑さ対策ガイドライン（60分）

（一般社団法人環境情報科学センター）

⑤地域における暑さ対策の取組み（15分）

（福岡市）

⑥質疑応答、閉会

参加者：18 人（地方環境事務所 1 人含む）



図6 福岡会場での開催状況（右上：萩島理氏、右下：福岡市松吉氏）

(5) 東京会場（その2）

日時：平成29年2月24日（金） 14：00～16：00（13：30 受付開始）

場所：AP 西新宿 5階会議室 B

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル

内容：①開会

②環境省における暑さ対策の取組について（15分）

（環境省 水・大気環境局 大気生活環境室）

③各地域の暑さの特性と暑さ対策の課題（30分）

（日本工業大学 建築学科 教授 三坂 育正氏）

④まちなかの暑さ対策ガイドライン（60分）

（一般社団法人環境情報科学センター）

⑤地域における暑さ対策の取組み（15分）

（熊谷市）

⑥質疑応答、閉会

参加者：65人



図7 東京会場（その2）での開催状況（右上：三坂育正氏、右下：熊谷市関口氏）

2) 講習会資料の作成

ガイドラインの基礎編、具体的対策編を中心として、講習会用のスライド資料を作成した。基礎編は21頁、対策編は52頁、合計73頁の資料を作成した。作成に際しては、視覚的に分かりやすいよう、できるだけ図や写真などを用いた。また、対策編には具体的な事例の紹介を盛り込んだ。

作成した資料及び、有識者による講演の配布資料を巻末に掲載した。



図8 基礎編のイメージ

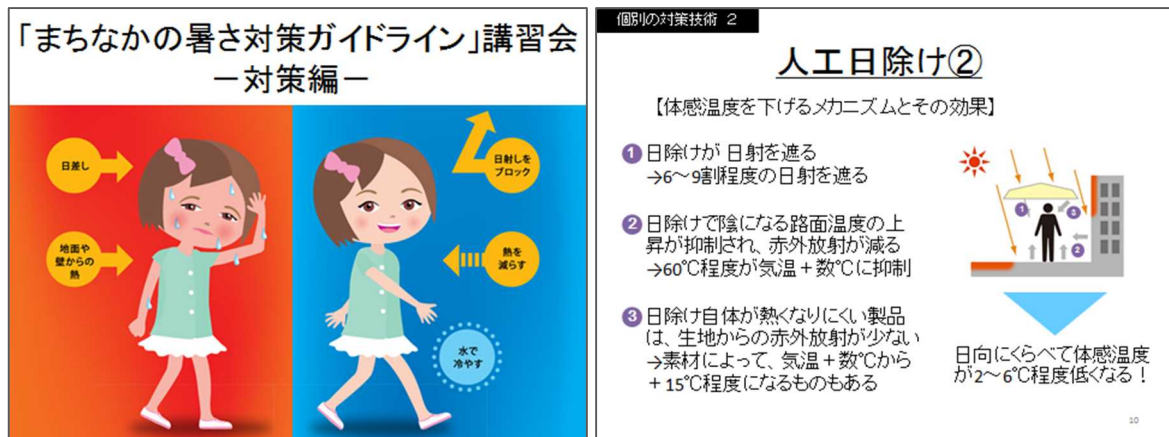


図9 対策編のイメージ

3) 参加者アンケート結果

5会場の合計参加者数は196人であったが、そのうち170人（出席者の87%）の方からアンケートを回収した。アンケート項目を以下に示す。アンケート用紙は巻末に添付した。

- ・ 所属
- ・ 職種
- ・ <問1> 講習会の感想（とても良かった～良くなかった）
- ・ <問2> 講習会の内容の今後の活用可能性
- ・ <問3> 今後、もっと知りたい内容

① 所属

参加者の所属は、約半数が環境部門であり、続いて道路部門、公園・緑化部門となっていた。環境部門以外からも幅広い部門から多数の参加があった。「その他」についてはオリンピック・パラリンピック関係部門、学校部門などの担当者が見られた。

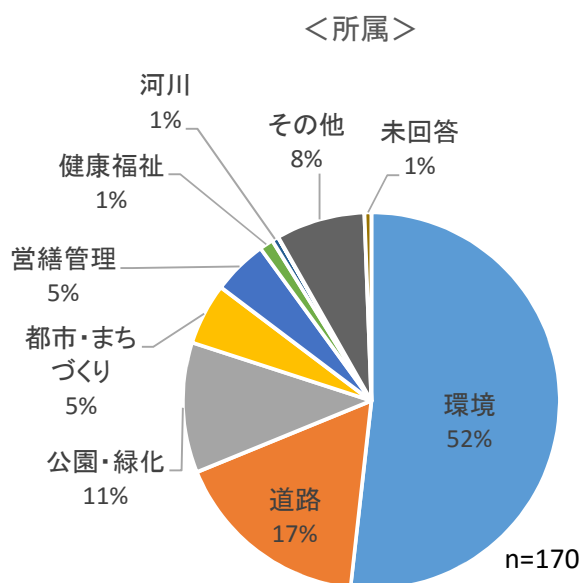


図10 講習会参加者の所属

② 職種

参加者の職種を「事務系」と「技術系」に分けて聞いたところ、おおよそ半数ずつの参加が見られた。

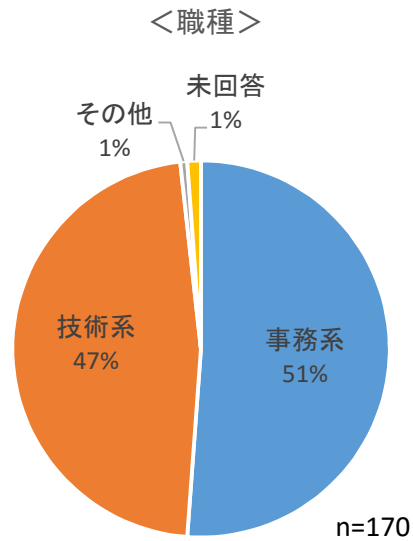


図 11 講習会参加者の職種

③講習会の感想

講習会を聞いた感想については、「とても良かった」が2割強、「良かった」も含めると85%の参加者が好意的な感想が聞かれた。

＜問1＞講習会に参加して、
良かったと思いますか？

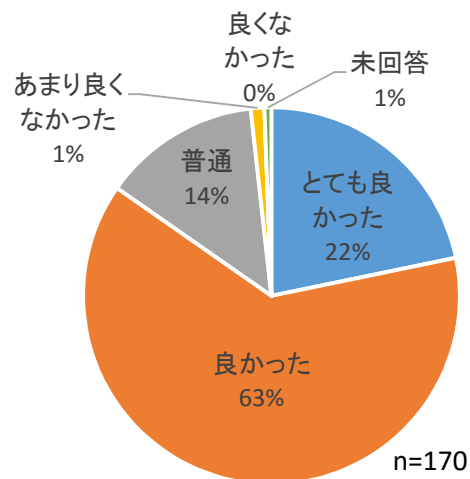


図 12 講習会を受講した感想

講習会を聞いた感想について、環境部門とそれ以外の部門、事務系、技術系の違いでクロス集計した。

環境部門と環境部門以外での集計結果は、大きな違いは見られなかった。また、事務系と技術系に分けて集計したところ、大きな違いはないものの、「とても良かった」と「良かった」を含めた割合は、いずれも8割を超えているが、技術系の方が6ポイントほど多くなっていた。

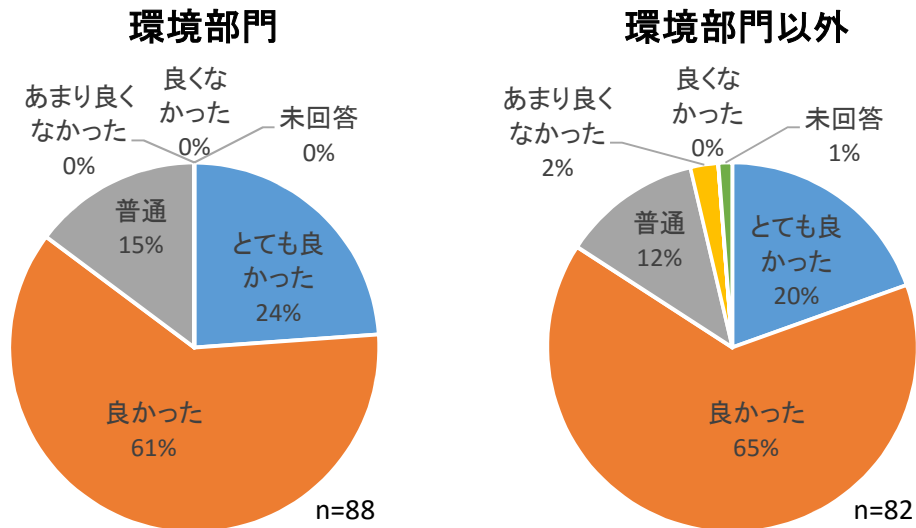


図 13 講習会を受講した感想（部門別）

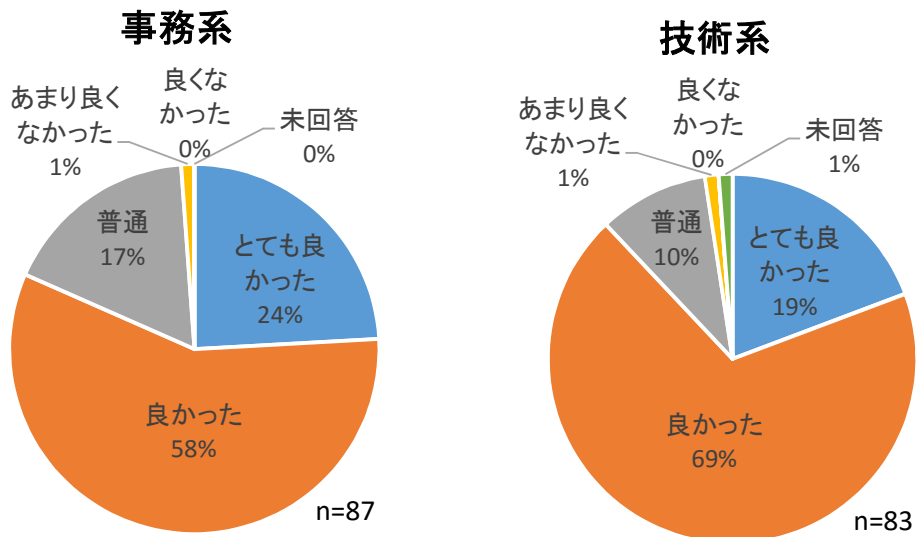


図 14 講習会を受講した感想（職種別）

なお、自由回答欄には以下のような意見が多く見られた。

- ・暑さ対策の重要性が理解できた。
- ・気温ではなく体感温度を下げることの重要性が理解できた。
- ・内容が非常に分かりやすかった。
- ・具体的な対策と効果の程度が理解できた。
- ・集中して聞くには丁度、良い時間だった。
- ・自治体の取り組み紹介が大変、参考になった。

一方、今後の課題として以下のような意見も見られた。

- ・もっと具体的な内容が話が多い方が良かった。
- ・時間が足りなかった。

④今後の活用可能性

講習会の内容を今後の業務に活用できるかの質問に対しては、半数以上が活用できると答えており、分からないという答えが4割弱であった。

＜問2＞講習会の内容を今後の業務に活用できますか？

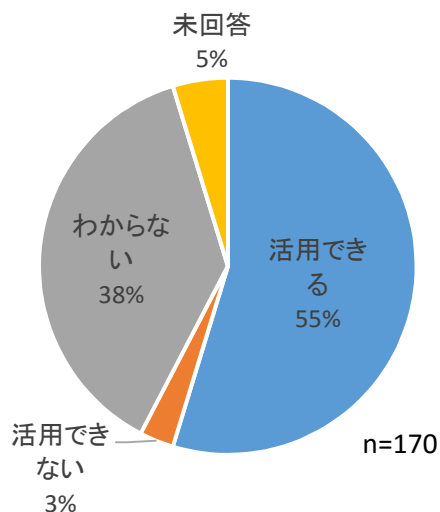


図 15 講習会の内容の今後の活用可能性

講習会の内容の今後の活用可能性について、環境部門とそれ以外の部門、事務系、技術系の違いでクロス集計した。

部門別では、「活用できる」とした割合が、環境部門で7ポイント程度高くなっていた。

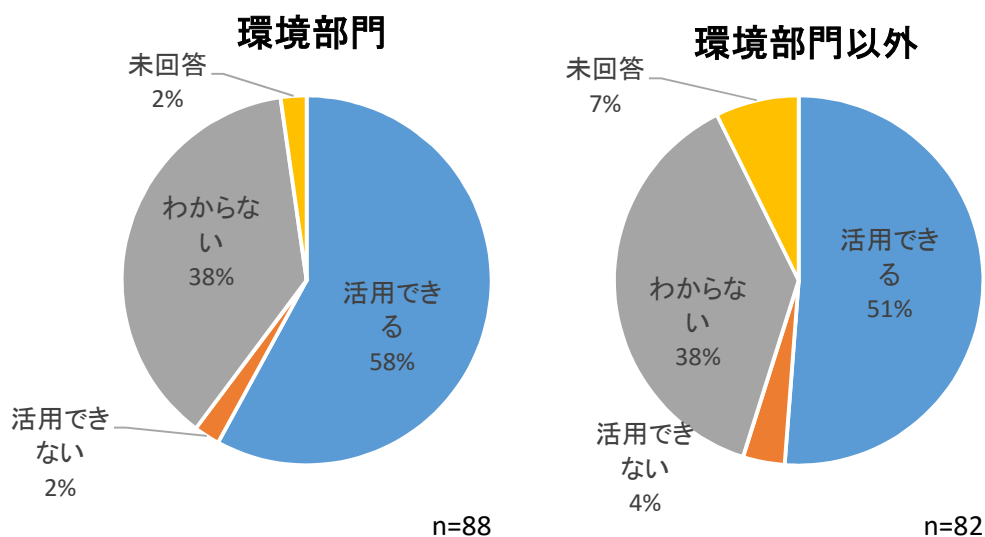


図 16 講習会の内容の今後の活用可能性（部門別）

職種別に見ると、「活用できる」とした割合が、技術系で6ポイント程度高くなっていた。

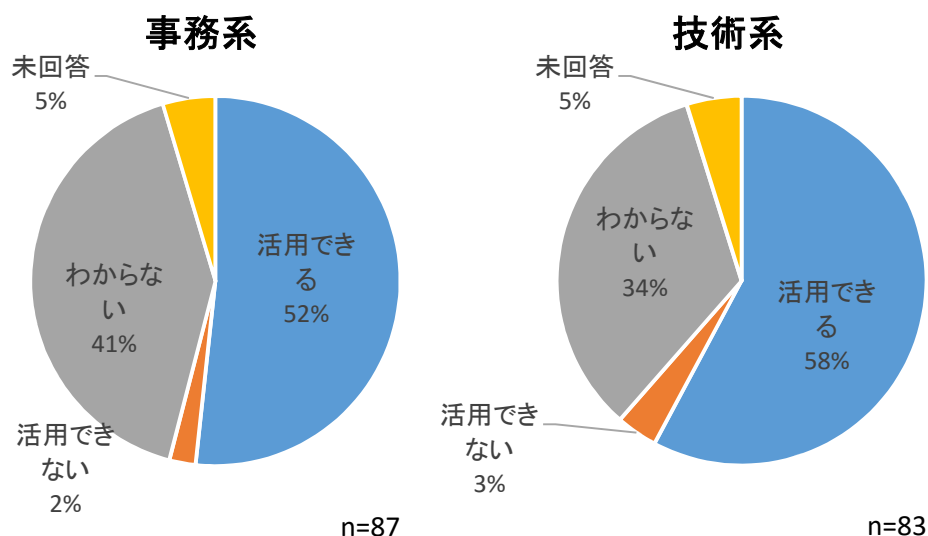


図 17 講習会の内容の今後の活用可能性（職種別）

今後の活用可能性に関する自由回答欄を見ると、活用できるとの回答には、以下のような意見が見られた。

- ・民間事業者との開発協議時の環境配慮指導で活用したい。
- ・地球温暖化対策計画に暑さ対策を取り入れたい。
- ・関係部局や市民に対して情報提供（普及啓発）していきたい。
- ・イベントで活用したい。

一方で、分からない、活用できないとした回答には以下のような意見が見られた。

- ・（特に環境部門の方から）ハード整備は事業課が担当なので活用できるか分からない。
- ・費用面での実施可能性の検討が必要である。
- ・学術的な話が中心であったため、具体的な取り組みには役立てにくい。

⑤今後、知りたい内容や改善点

今後、知りたい内容や講習会の改善点について聞いたところ、以下のような意見が見られた。

- ・コスト情報（設置、運用）や補助金の情報が聞けると良い。
- ・効果的でユニークな取り組み事例が聞きたい。
- ・暑さ対策が温暖化対策効果と合わせて示されると、事業化しやすくなる。
- ・もう少し（30分程度）時間を延長しても良い。
- ・定期的な開催が望まれる。
- ・夏に現地視察を含めた講習会が望まれる。
- ・自治体の取り組みをもっと紹介して欲しい。
- ・個人で実施できる取り組みを紹介して欲しい。